

さいがい 災害から身を守るために

災害は、地震や津波だけではありません。ここでは、安全な行動のために必要な視点を確かめましょう。また、地震以外の災害時の行動についても確かめてみましょう。

1 あぶないところを見つけよう



2 自然のサインを見のがすな

① 雨が強くなった（大雨）

水害から身を守るには、日頃の備えと落ち着いた行動が大切です。

ふだんは流れがゆるやかな川も急に増水することがあります。

また、がけ崩れや土石流などの災害が発生するときには、右の図のようなことがあるといわれています。



② 雷の音が聞こえてきた



車の中や建物から出る。 高い木や建物から離れる。 姿勢を低くする。

③ 竜巻かも（真っ黒い雲・雷鳴・冷たい風・大つぶの雨）



外では… ビルなどのじょうぶな建物の中や物陰にかがんで避難しましょう。
建物の中では… 窓やカーテンをしめ、窓際から離れ、布団などをかぶって身をかがめます。

3 火事を見つけたら？

① 早く知らせる

- ◆ 近くにいる人、近所の人に大声で！（声が出ないときは、なべをたたくなどして大きな音で知らせる。）
- ◆ あわてず正確に119番通報。（P42「応急手当の方法と救急車の呼び方」を確認しよう。）

② 早く消す

- ◆ 初期消火が決め手。（絶対に無理をしないこと。）

③ 早くにげる

- ◆ 避難はすばやく安全に。



姿勢を低くし、煙をすわない。



にげたら、もどらない。